

2022 年度実施概要

学校名

阪南市立上荘小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海洋教育オリエンテーション	3～6	総合
2. 見直そう！わたしたちの生活～海洋プラスチック問題～ (海のごみ問題・生き物観察)	6	総合
3. 大阪湾で行われている漁の仕方について (尾崎港へ行こう 私たちの漁業)	5	総合・社会
4. 海藻おしばをつくろう	3	総合・図工
5. チリメンモンスターを探そう	1,2	生活
6. 海の生き物にふれよう (海の生き物見つけ)	4,6	総合
7. 海洋教育ってなあに (ビーチコーミング 海の生き物見つけ 石ころアートをしよう)	2	生活・図工
8. 海の生き物について知ろう (尾崎の海岸)	3	総合
9. 海を知り、海を守ろう (アマモにふれる 海の生き物見つけ) (尾崎の海岸)	4	総合
10. 抜水・湧き水について (阪南市職員出前授業・浪花酒造見学)	6	総合・社会
11. アマモ苗床づくり・播種	5	総合
12. 私たちの海でワカメを育てよう	5	総合
13. SDG s 授業 エコクッキング 大阪ガス出前授業	5	生活・総合・社会
14. 育てたワカメを収穫しよう	5	総合
15. 海の生き物とふれあおう	1	生活
16. アマモの秘密を知ろう	4	総合
17. 水産業のさかんな地域 (大阪府栽培漁業センター見学)	5	社会
18. お米ができるまで 田植え体験 稲かり体験	5	社会
19. 海藻万華鏡をつくろう	4	図工
20. SDG s 授業 食品ロスをなくす くら寿司出前授業	4	総合
21. SDG s 授業 マイクロプラスチックについて 大阪府職員出前授業	3	総合
22. SDG s 授業 水について SDGs について 阪南市職員出前授業	2	生活
23. SDG s 授業 大阪湾でとれる魚について 大阪府職員出前授業	1	生活

取り組みの概要

1. 概要

本校は、国道沿いの学校で近隣には住宅街や商業施設が並び、海や山が近くにある校区ではなく、海洋教育を進めるうえでの立地的条件は整っているとは言えない。そのような状態から昨年は、海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加し、海洋教育実施校（尾崎小学校、西鳥取小学校、下荘小学校、舞小学校）との連携・交流をしながら取り組んできた。昨年度、活動の意義を児童は理解し、多くのことを学ぶことができた。

今年度は山から遠く、海からも遠い本校の地形を生かした活動を考える所からスタートした。この地域の人たちは山から流れてくる川の水を利用し、稲作を進めてきていること、湧き水を生かして産業につなげてきたことに注目し、この地域に関わる活動を取り入れた。それが今年度から行っている稲作体験と酒蔵見学である。地域と関わる活動を取り入れることで阪南市の文化歴史を知り、地域を大切にしていこうとする心情を育てていきたい。

2. 目標

- (1) 「海」での活動の楽しさを通して、海の環境保全活動を知り、産業・資源について学ぶ。
- (2) 阪南市の文化歴史、身近な環境にふれることで地域を大切にしていこうとする心情を育てる。
- (3) 他者に伝える活動を充実させ、「発信する力」「発表する力」の向上をめざす。

3. 取り組み

【海に親しむ】 海の自然に親しむ、海の多様性に触れる

○海の生き物について知ろう（6月）3年（尾崎の海岸）

近くの海岸を歩いて、生き物を探したり貝殻などを拾ったりする

○海の生き物にふれよう（6月）1・2年（尾崎の海岸）

近くの海岸を歩いて、生き物を探したり貝殻などを拾ったりする

拾ってきた石を用いて「石ころアート」を行う

○チリメンモンスターを探そう（1月）1～2年

チリメンモンスターを探す活動を通して、海の生き物の多様性について知る

【海を知る】 海の自然や資源・人との繋がりについて関心を持つ

○海藻おしば・海藻万華鏡をつくろう（2月）3・4年

海藻を用いて、絵葉書・万華鏡をつくる

○大阪湾で行われている漁の仕方について（尾崎漁港へ行こう 私たちの漁業）（9月）5年

近くの尾崎漁港を見学し、漁師から漁船や漁具について学ぶ

○「抜水」ってなに？浪花酒造へ行こう

（水について・湧き水を地域の人たちは利用してきたことを調べる）（1月）6年

○SDGsを知ろう（10月～1月）1・2・3・4・5・6年

「エコクッキング」「海洋プラスチック問題」、「食品ロス問題」、「大阪湾のお魚と漁業」について学習をした

【海を守る・利用する】 海の保全活動を体験する、自分にできることを考えて実行する

○見直そう！わたしたちの生活～海洋プラスチック問題～（海のごみ問題・生き物観察）

尾崎海岸で清掃活動を行い、生き物調査を行う

- 海を知り、海を守ろう（アマモを見つけよう 海の生き物見つけ）（6月）4年（尾崎の海岸）
尾崎海岸のアマモ場で、アマモにふれる。生き物調査を行う
- アマモ苗床づくり・播種（11月）5年
- ワカメ種糸つけ（12月）・収穫（3月）5年
- 稲作体験（5月）田植え（10月）稲刈り

4. 成果

- ・今年度も、多くの外部講師の方に関わってもらえたことで、全学年で「環境」と「海」のつながりを感じさせる活動を行うことができた。
- ・6年生では海岸清掃活動を通して、自然環境問題に向き合うことができ、さらに地域の環境について、市の職員から話を聞くことができた。
- ・5年生に中心となる学習がくるように計画し、それに向けて4年生でやっておくこと、3年生で取り入れること等、系統立てた計画を立てた。4年生の児童は5年生で行う活動に興味を持っていた。
- ・5年生は地域の水田で田植えと稲刈りを行った。その活動をもとに、児童は「伝える活動」「発信する活動」に取り組んだ。どのように伝えるかを各班で考え、紙芝居を作成したり、クイズ形式にしたりと発表の仕方を工夫していた。
- ・海洋教育と並行して、本年度も大阪府の SDGs 出前講座を1年から6年生まで受けた。海洋教育とリンクすることがあり、意欲的に学習に臨んでいた。

5. 課題

- ・海洋教育の単元と他教科等との結びつきや、関連性を意識して活動することに少し消極的になってしまった。次年度は、各教科との関連性を意識して活動に取り組みたい。
- ・5年生が今年行った稲作の活動は保護者からも好評価であったが、活動に学年の偏りが大きくなってしまった。次年度は活動する内容を精査し、偏りがないようにしていきたい。
- ・他者に伝える活動を充実させ、「発信する力」「発表する力」の向上をめざしていきたい。今年度は5年生が学習参観で保護者に向けて発表できた。他学年にも広げていきたい。



2.わかめ収穫_5年_上荘小学校



2.海岸清掃_6年_上荘小学校



2.田植え_5年_上荘小学校



2.抜水について授業_6年_上荘小学校